

連携先・ラボ概要

連携先:Sカレ(Student Innovation College)参加企業、天満屋、吉備オープンイノベーション協会 他

Sカレは全国の32大学40ゼミが参加(2025年度)する、商品企画のインターカレッジ。企業が提示する課題に対して企画、開発を行い、商品化を競う。商品化に成功した各大学のゼミは最終的に販売実績などを踏まえ総合1位を決める。企業とより密度の高い連携を取り、実践的な力を養う。



ラボで解決に取り組んだ課題

既存の商品が夜空の星のように輝く市場で、その光だけでは照らせない空白のニーズがある。私たちは若者の新鮮な視点という“線”でそれらを引き合わせ新たな星座を描き出す。既存の点と点を繋ぎ、未だ見ぬ画期的な商品を企画することで人々の心に新たな光を灯していく。



活動記録



【関西交流戦】

秋カンに向けた複数大学の合同発表会。自分のチームが他大学のチームと比べてどうか、審査員からのフィードバックなどから、より企画を磨いていく。



【秋カン】

ZOOM上で行われた。この時点で競合の大学はプロトタイプを作成して商品の認知度を上げるためにイベントなどを開催していた。他大学との差を感じる機会となった。



【冬カン】

東京の法政大学で行われた。秋カンで感じた差を縮めるために一層力を入れて資料作りに励んだ。結果として表彰には届かなかったが、資料の作り込みから発表に至るまで、これまでの努力がすべて形になった、自分たちにとっての集大成の内容だった。

1年間の活動の総括・成果について

この一年で自ら企業の方と連携して商品企画をして実際に発表した。それ以外に多くの大学の発表を聞く中で企画について多角的に学ぶことができた。ただ画期的な商品を企画するだけではなく価格設定や販売経路、PR方法など根拠を追求して商品企画に活かす、この根拠をもとに考え、行動することは重要なことだが軽視されやすい。これからの人生で活かしていきたい。